

## 「駒場散策会」

2015年7月11日(土)

晴れ上がった空の下、恒例となった文化委員会主催の散策会が催されました。

今年も、国際高校元日本史教諭の蒲生真紗雄先生にご案内頂きました。先生の大変わかりやすいご解説のおかげで、地域の歴史への理解が深まる素晴らしい機会となりました。

駒場野公園より総勢 52 名で散策会がスタートしました。この地にあった駒場農学校の歩みを学びながら駒場小学校へ。普段は立ち入ることのできない敷地内の「明治天皇駒場野聖蹟碑」を特別に見学させて頂きました。明治3年の練兵天覧行幸を語る記念碑には、前田利為らの名が刻まれ、大規模な軍事演習を騎馬で閲兵した明治天皇を偲ぶ建立者の方々の思いにふれることができました。

東京大学教養学部では、旧第一高等学校当時の建物を見学しました。歴史的な価値、デザイン性と芸術性を兼ね備えた建築として、後世に残したい文化遺産であるとの認識を新たにしました。

そして、旧前田侯爵邸・洋館へ。各室に設けられた暖炉やシャンデリアなど贅を尽くした造りに当時の侯爵家の華麗な生活が偲ばれ、優雅なひとときでした。

最後は日本民藝館へ。民芸に本物の美を見出した柳宗悦の収集物をじっくり鑑賞でき、民芸好きには最高の1日になりました。



参加された方からは、「国際高校の近所にこのような素晴らしい史跡があることを知らなかった。」「またゆっくり訪れてみたい。」などの声が寄せられました。

お忙しい中、しおりまでご用意くださった蒲生先生や、参加者の皆様のご協力のおかげで、今年も盛況のうちに散策会を終えることができました。心より感謝申し上げます。  
(PTA文化委員会)